

立ち読み版

いよいよ、1次試験直前！  
試験では「最後のワンマーク」が  
運命を決めるカギになる。  
毎年、出題される新規問題に対応すべく、  
今年も「ズバリの中」実績のある  
「ふぞろいな合格研究会」のメンバーが、  
近年の時事を徹底分析！  
平成30年度の  
1次試験問題を大胆に予想する。  
「あとワンマーク」で  
泣くことがないように、  
ぜひ、ご一読を！

【監修】  
ふぞろいな合格研究会

特集

あとワンマークを決める！

# ふぞろいな 予想問題 III



- 第1章  
**時事問題の傾向と対策**  
安藤 準
- 第2章  
**働き方改革**  
森 大輔
- 第3章  
**生産・物流**  
石崎 一之進
- 第4章  
**デジタル革命**  
篠原 雅人
- 第5章  
**新たな金融制度**  
中里 英則

付 録  
「予想論点」穴埋め問題

特集  
あとワンマークを決める！**ふぞろいな** 予想問題 III

第 1 章

**時事問題の傾向と対策**

安藤 準  
ふぞろいな合格研究会/中小企業診断士

## はじめに

中小企業診断士1次試験まで、あとわずか。受験生の皆さんは、学習は順調に進んでいるでしょうか。

1次試験は、7科目と学習範囲が広いことが特徴です。皆さんにも科目の得意・不得意があることと思います。

どの科目も時間をかけて学習すれば、50点程度までは取れるようになりますが、60点を取るとはなかなか難しいものです。

毎年、7科目合計の結果、「あとワンマーク」といったところで、涙をのむ受験生も少なくありません。この「あとワンマーク」を取るためには、まず過去問を前提に作られた一般的なテキストを繰り返し学習することが重要です。

さらに、少し違う視点を取り入れて、新しい情報や傾向を想定した時事問題についても考慮しておくことが、あとワンマークの獲得につながる可能性があります。

そこで、今年も「ふぞろいな合格研究会」メンバーで、近年の時事やニュースを検討し、徹底的に議論を重ね、1次試験の時事問題を大胆に予想しました。

この予想問題の特集は、平成28年度試験の予想から始まり、今年で3回目になります。1回目に続き、昨年の2回目においても関連問題をいくつかの中させることができました。

今年も、2018年執筆直前までの時事・ニュースをとことん振り返り、平成30年度試験問題の的を狙っていきます。

## 1 時事問題のパターンと対策

まず、時事問題への考え方を整理します。ここでは、昨年度と同様に、時事問題のパターンと対策について、時事の時期と論点の新規性で4つに分類して考えてみましょう（図表1）。

1次試験の時事問題が対象としている時期は、大きく分けて2つあります。ここでは、平成29年度の1次試験を例にして説明します。

一つは、経済学・経済政策の第7問「2016年9月、日本銀行は金融緩和強化のための新しい枠組みとして『長短金利操作付き量的・質的金融緩和』を導入した」という最近の話題を論点にしている場合です。

もう一つは、第16問「近年、保育や介護の現場における人手不足が社会問題となっている」という少し長い期間の話題を論点にしている場合です。

続きは雑誌で